

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和3年3月22日 VOL. 153

藤の花かんかんネット

看護職連携を進めています！

藤の花かんかんネット

藤の花かんかんネットは、市内の看護職連携を進めるため、平成29年度に立ち上がり、今年で4年目を迎えました。今年度3回目の会議を令和3年3月9日「**コロナ禍における各施設・事業所の現状と課題**」と題し開催しました。訪問看護師からは、「(ウイルスを)持ち込まない。持ち出さない。広げない」を徹底し、訪問看護を実施している。地域包括支援センター(通称:あんすこ)からは、コロナに対する認識や対応が人により様々であり、正確な情報共有が必要。また、市立病院、中部保健所からは、新型コロナウイルスの最前線の対応や現状について報告があり、それぞれの立場で活動する看護職の課題を共有することができました。

Withコロナと地域包括ケアシステム構築・深化に向けてグループワーク

報告者の皆さん



藤枝市立総合病院
森田恭子副部長



もも訪問看護
ステーション
柳原玲子管理者



あんすこ開寿園
夏賀則子 看護師



中部保健所
足立敬子部長



藤の花かんかん
ネット代表
藤枝市立総合病院
蓮家好美看護部長



県看護協会山田理事より
講評をいただきました。

グループワークでは、「**Withコロナに対応するため**」と題し話し合いを行い、「入院時の面会制限の影響からか、自宅で療養する人が増えた印象があり、看取りの支援を行っている」「リモートでの面会を行い、退院支援につなげている」等の情報共有と、「コロナ対策について専門職からの正しい知識を得たい」「かんかんネットを活用して情報共有をしていきたい」との課題と課題解決に向けた今後の取組みを検討し、次年度の多職種連携の活動にもつなげて行くことを確認しました。

地域リンクナースが感染症対策のDVDを作成

平成29年度から、市立総合病院の感染管理認定看護師から研修を受けた市内の事業所等の看護師(地域リンクナースの)が、習得した知識や技術を、自施設や市内の介護事業所の看護職、介護職等への伝達講習を行う活動をしています。地域リンクナースの活動を始めてから、市内の介護事業所でノロウイルス等の集団感染の報告はなく、感染症対策の意識が深まったことがわかります。今年度は、伝達講習の内容をDVD化し、市内の介護事業所等に約100枚配付し施設内での研修に役立てています。

配付された事業所からは、「内容が大変わかりやすい」「施設内で研修に使用した」「書面ではなく、映像で確認できるので良かった」と施設内研修での活用が進んでいます。



DVDは、地域リンクナースが出演し、市立病院職員が作成監修を手掛けるなど全て手作りです。

バックNoの検索は

